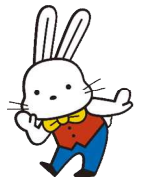


第9回福島漢字探検隊



漢字あそび大会^{イン}福島 (全国通算第143回)

漢字カルタや漢字カードなどを使って楽しく漢字を学ぼう！

漢字グッズ満載のクイズ大会・ビンゴ大会もあるよ！

◇日時 9月22日(火・休) 12～17時
9月23日(水・祝) 10～16時

◇会場 福島市子どもの夢を育む施設 **こむこむ**

◇参加料 **無料**



事前申込不要 当日会場に直接お越しください

◇おもなイベント

9/22は1階・にぎわい広場と4階・企画展示室 9/23は4階・企画展示室



漢字あそび

漢字のカルタやすごろく、パズルなどで楽しく遊ぼう

22日 12:00～17:00 / 23日 10:00～16:00

漢字クイズ大会

漢字についてのクイズに挑戦しよう。当日エントリー受付。(各回20人)

小学生以下の部 22日 12:30～ 15:30～ / 23日 10:30～ 14:30～
中学生以上の部 22日 14:00～ / 23日 13:00～

画数ビンゴ大会

漢字の本やグッズなどが当たるビンゴ大会。漢字の画数が幸運の数字。

22日 16:30～ / 23日 15:30～

古代文字で名前を書いてもらおう

自分の名前を古代文字で書いてもらおう。

22日 12:00～17:00 23日 10:00～16:00 (途中休憩があります)



白川静と東洋文字文化ミニ展示

白川静博士の生涯や著作、甲骨や青銅器のレプリカ等。

22日 12:00～17:00 23日 10:00～16:00

◇主催 立命館大学白川静記念 **東洋文字文化研究所**

◇協力 こむこむ館、国立大学法人福島大学

◇後援 福島県教育委員会、福島市教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島放送、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM

◇協賛 平凡社、太郎次郎社エディタス、スリーエーネットワーク、フォーラム・A

◇お問い合わせ 学校法人立命館 社会連携部社会連携課

Tel: 075-813-8209 FAX: 075-813-8167 / e-mail: toyomoji@st.ritsumeit.ac.jp

この催しは、子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成活動によるものです。「漢字探検隊」は、立命館大学の登録商標です。

シルバーウィークの福島県は、漢字でいっぱい

9月19日(土)
・20日(日)



第7回福島漢字探検隊 —漢字あそび大会イン喜多方

「漢字のまち・喜多方」では、福島でのイベント内容に加え、講演会や「古代文字ミステリーツアー」を開催します。

時 間 19日 12時～17時 20日 10時～16時
講演「喜多方を漢字のまちにする」
高橋政巳氏(楽篆工房主宰) 19日 15時
講演「お酒にまつわる漢字と漢詩」
澁澤 尚氏(福島大学教授) 20日 11時半
場 所 喜多方市蔵の里・押切川公園体育館
参加費 無料(事前申込不要・自由入退場)
※古代文字ミステリーウォークは有料
(1000円・ラーメン券付きは1500円)
「蔵の里」と「喜多方駅観光案内所」で受付

9月21日(月・祝)



第8回福島漢字探検隊 —鶴ヶ城で漢字と出会う

天守閣再建50周年を迎えた鶴ヶ城を巡り、「高・片・囀」など、建物からできた漢字を学びます。

時 間 午前の部 10時～12時
午後の部 14時～16時

集合場所 会津若松市文化センター

参加費 無料

申し込み 学校法人立命館社会連携課へ

※連絡先は、表面の下に記載しています。
※氏名・学校学年・連絡先(電話・アドレス)

白川静(しらかわしずか)ってだれ?

漢字の成り立ちを調べると、大昔の人の暮らし方や考え方が分かります。これまでは、2000年前の字書に書かれていた成り立ちを、後の人もずっとそうだと考えていました。しかし、「そうではない」と自分の考えを表したのが白川静先生です。およそ50年前のことです。白川先生は、大昔の人が亀の甲羅や獣の骨に刻んだ字を研究して、漢字の成り立ちについての新しい考えを発表しました。



大人の方へ

白川静博士(1910-2006)は、東洋研究の第一人者。中国古代人の生活や信仰にまで踏み込んで古代文字を分析。漢字の成り立ちについて、2000年来の解釈を覆す理論を打ち立てました。立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所は、白川博士の研究成果を元に、東洋文字文化について広く社会一般を対象とした教育と普及を行い、また学術研究の分野において東洋文字文化研究の振興と高度化を図ることを目的に活動を行っています。